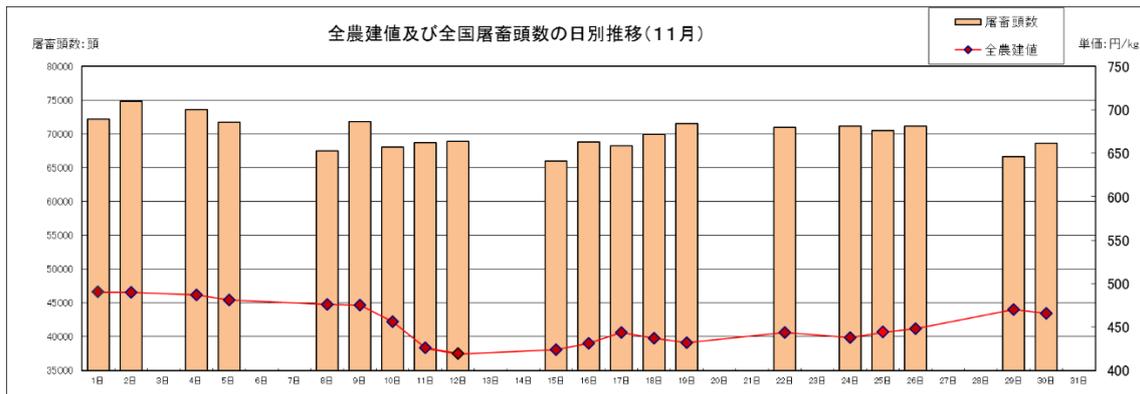


肉豚インフォメーション（11月）

【全農建値】

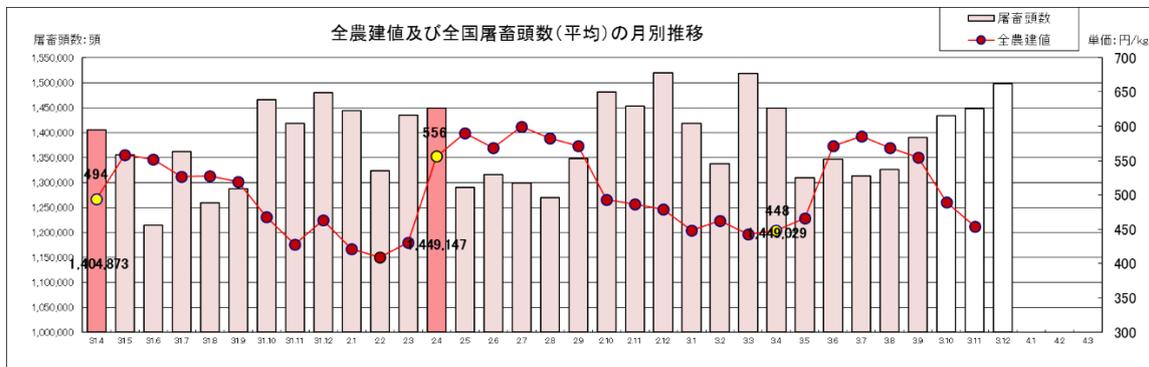
2021年11月（税抜）	2020年11月（税抜）
454 円/kg（33 円安）	484 円/kg

11月は、上旬から7万頭を超える出荷頭数があり、中旬にかけて大きく値を下げた。下旬にかけて底堅く月末に相場を上げる展開となった。



12月以降の動向

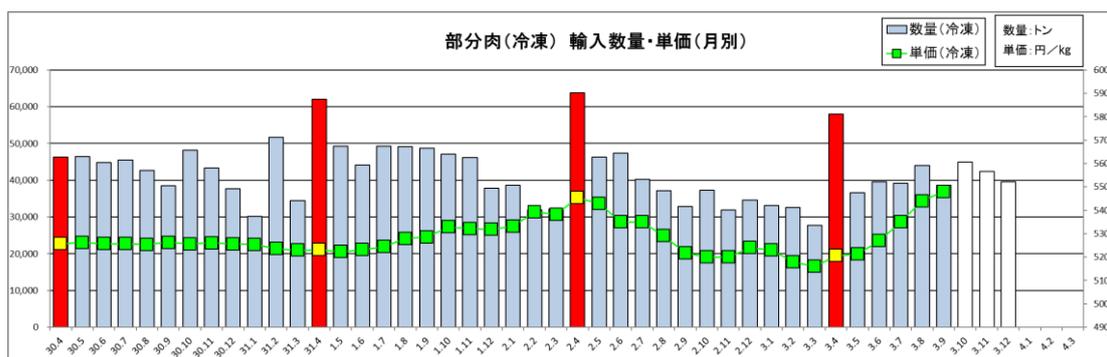
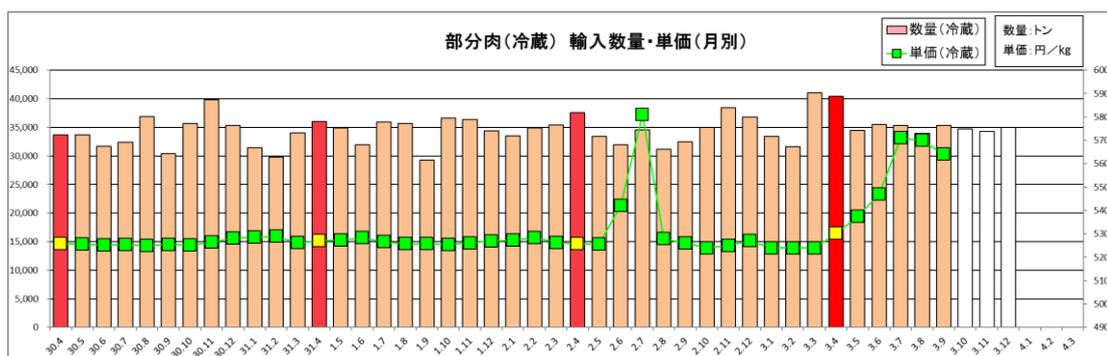
12月の出荷頭数は、前年同月をわずかに下回ると予測されている。



冷蔵品輸入量は、北米における現地価格の高止まりの影響等から、11月はかなりの程度、12月はやや、いずれも前年同月を下回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をやや下回ると予測する。

冷凍品輸入量は、国内在庫が高い水準であったこと等により前年の輸入量が少なかったことに加え、中国の買い付けが弱まったことにより相場が下がった欧州産の輸入量が増えていること等から、11月は大幅に、12月はかなり大きく、いずれも前年同月を上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期を大幅に上回ると予測する。

（ALIC 豚肉の需給予測について 11月25日）



緊急事態宣言が解除されて、行楽シーズンもあり外食需要がようやく動き出した。

Go to キャンペーンに先立って実施された地方自治体による観光支援策が下支えとなり、各地で飲食業界や観光業界が賑わい始めている。

一方で新たな変異株「オミクロン株」の日本人への感染が国内で初めて確認されたことを受けて政府は引き続き水際対策を徹底していく方針となっている。

また、11月にカナダで発生した集中豪雨の影響で物流が混乱しており、日本向けに輸出している冷蔵豚肉に影響が出ている。カナダは日本向け冷蔵豚肉の主要輸出国であるため、国内相場にも影響しそう。

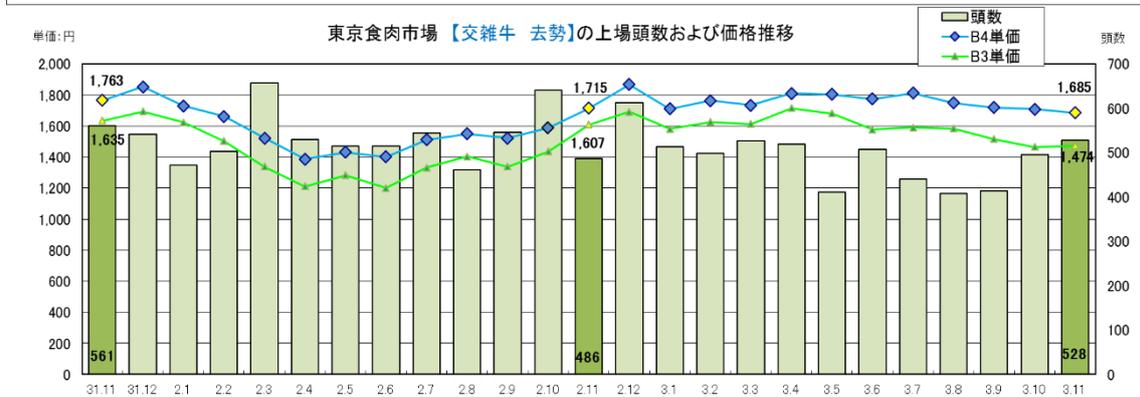
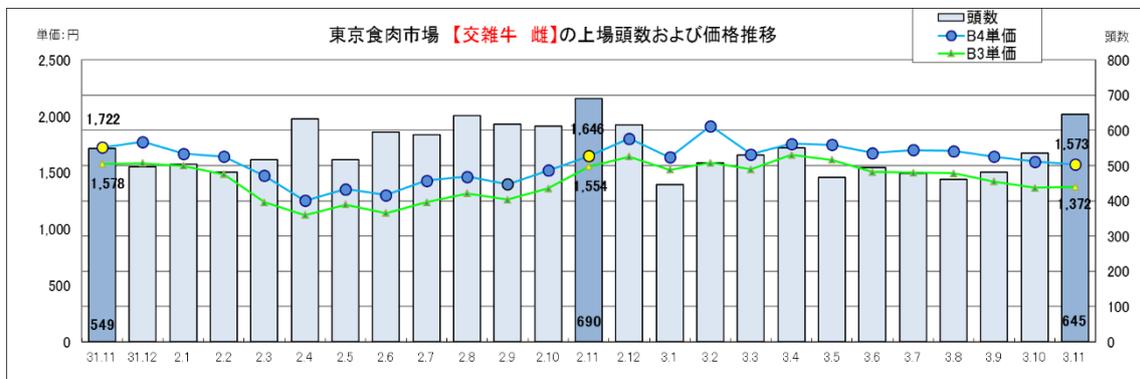
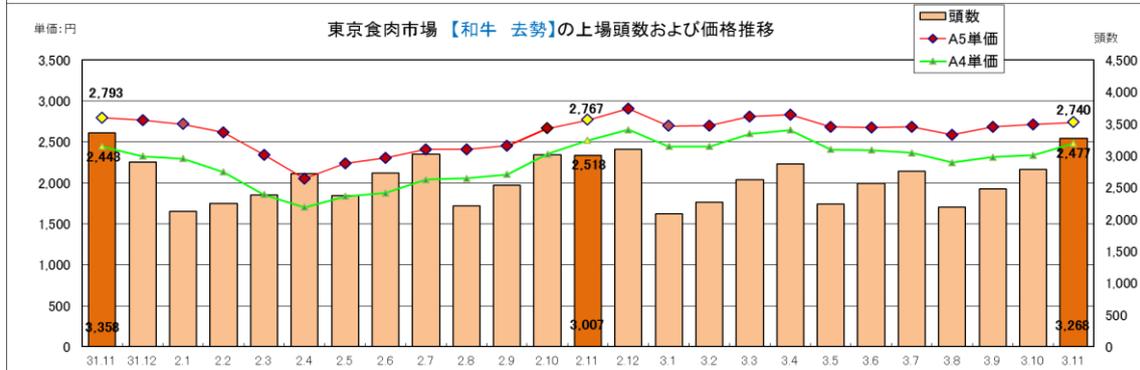
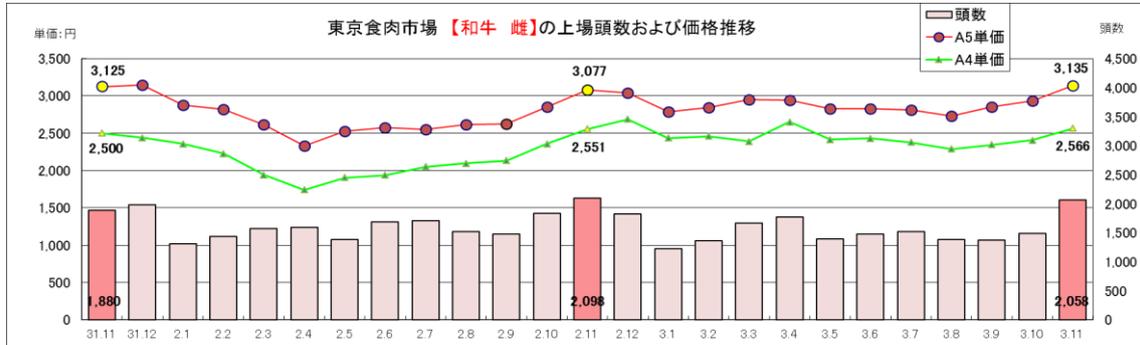
12月の相場は上げる見通し。

全農建値(税抜)予測レンジは480円~560円とする。

肉牛インフォメーション（11月）

● 11月の動向

和牛は、上物を中心に月末に向けて年末需要の手当て買い始まったことから徐々に値を上げた。一方の交雑牛は弱含みで推移した。



● 1 2月の動向予測

1 2月は年末年始に向けた手当てが活発になる。和牛は中旬に向けて強含みで推移し、下旬にかけてはもちあい予想される。一方、交雑牛は後半から徐々に上げてくると見込む。

1 2月相場は「強もちあい」の展開と予想。

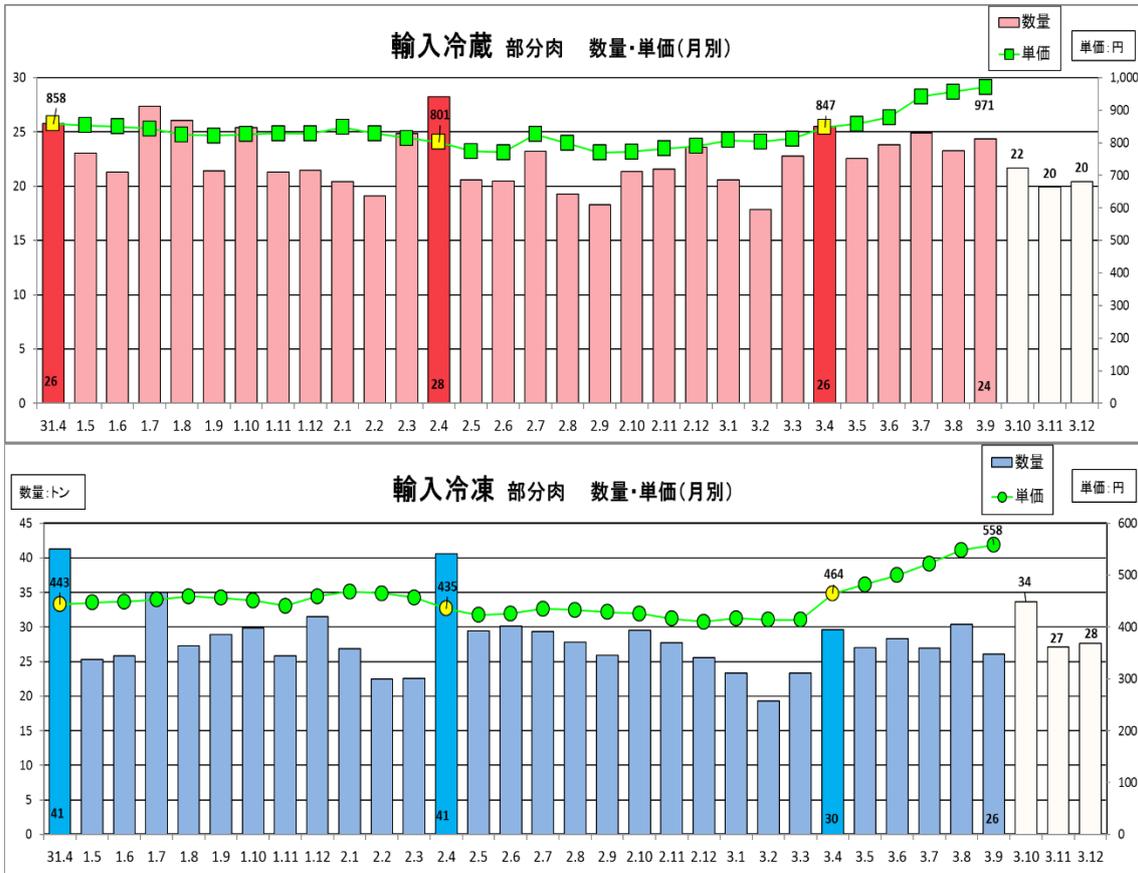
和牛去勢 A5 等級 2,900 円 (税込み) A4 等級 2,650 円 (税込み)
 交雑去勢 B4 等級 1,850 円 (税込み) B3 等級 1,650 円 (税込み)

● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、豪州及び米国における現地価格の高止まり等により、1 1月および1 2月はいずれもかなり大きく前年同月を下回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。

冷凍品輸入量は、1 1月は冷蔵品と同様の影響等により、前年同月をわずかに下回ると予測する。一方、1 2月は豪州産の輸入量が現地価格の高止まり等により減少するものの、他国産の冷凍品が増加することから、前年同月をかなりの程度上回ると予測する。なお、3カ月平均では、前年同期をかなりの程度上回ると予測する。

(A L I C 牛肉の需給予測について1 1月25日)



●消費動向

引き続き、新型コロナ感染を警戒する状況が続いており、忘年会などの大人数宴会は期待できないことから、リブ、サーロインの消費が厳しい。量販店では鍋需要に期待して、ある程度だがスライスの引き合いが増える見込む。

●全農茨城県本部家畜市場動向

素牛平均価格（11月税込）は、黒毛和種の雌は663,598円で前月比+54,658円、去勢は771,029円で前月比+14,529円となった。上場頭数（成立）は137頭で前月比▲30頭。

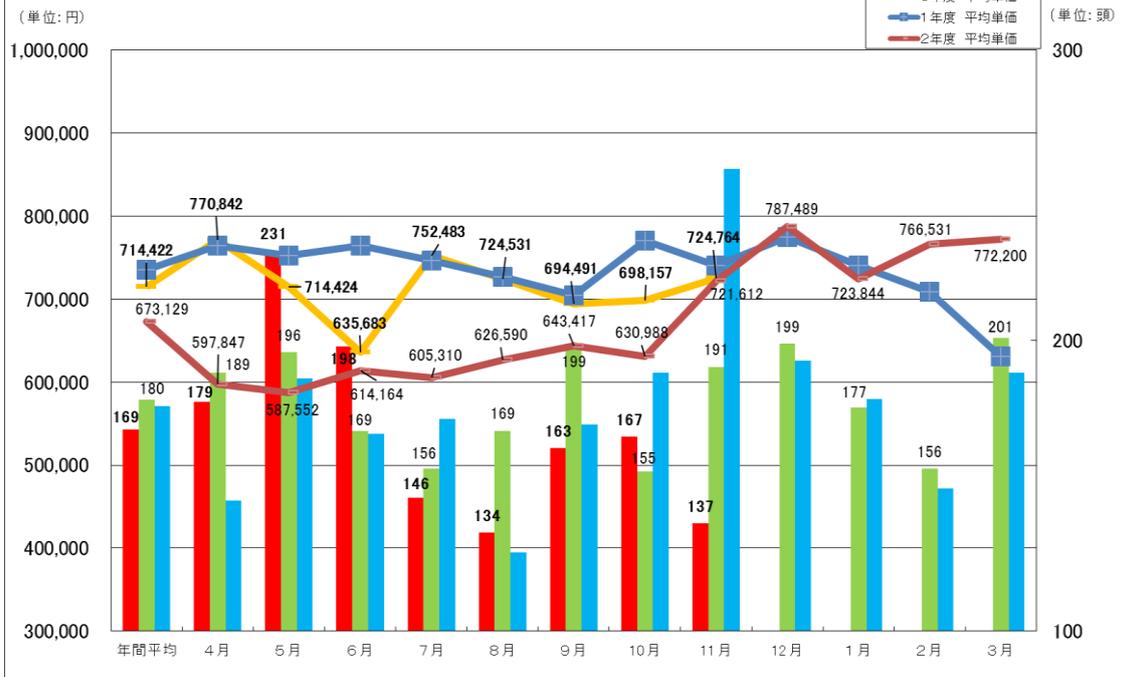
次回上場頭数は187頭を予定している。

全農茨城県本部家畜市場実績（和牛子牛）

(税込)

	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年度 平均単価	735,223	764,223	752,015	764,621	746,382	726,806	704,141	769,994	740,279	774,343	740,581	708,666	630,626
去勢	791,182	804,333	799,867	842,908	797,996	801,132	732,566	818,370	797,145	846,297	814,402	757,106	682,060
雌	659,697	707,400	675,585	684,447	680,659	631,348	657,786	702,635	661,359	682,919	639,563	633,657	559,009
2年度 平均単価	673,129	597,847	587,552	614,164	605,310	626,590	643,417	630,988	721,612	787,489	723,844	766,531	772,200
去勢	734,165	649,837	642,142	674,214	650,911	694,492	709,130	714,912	794,798	850,944	799,476	794,563	834,562
雌	598,275	513,364	510,047	545,753	561,990	550,285	562,199	552,310	635,950	707,450	630,022	724,591	685,339
3年度 平均単価	714,422	770,842	714,424	635,683	752,483	724,531	694,491	698,157	724,764				
去勢	772,382	835,115	780,016	692,025	806,078	783,500	754,794	756,500	771,029				
雌	631,348	694,811	609,771	570,768	668,800	605,318	628,777	608,940	663,598				
1年度 成立頭数	178	145	187	168	173	127	171	189	259	193	180	149	189
2年度 成立頭数	180	189	196	169	156	169	199	155	191	199	177	156	201
3年度 成立頭数	169	179	231	198	146	134	163	167	137				

茨城県本部家畜市場 和子牛の取扱推移表



食肉インフォメーション（11月）

日本フードサービス協会がまとめた外食産業市場調査 10 月度結果報告によると、全体売上は対前年比 99.5%、コロナ前の 2019 年比では 93.8%に回復もパブ・居酒屋業態は苦戦が続いている。9 月末に「緊急事態宣言」および「まん延防止措置」の解除、10 月下旬に首都圏 1 都 3 県や大阪府での時短営業要請の解除があり、引き続き好調なファーストフードに引っ張られる形で全体売上が回復した一方で、パブ・居酒屋業態では時短営業要請解除後は再開する動きが増えてきているものの、そのペースは店ごとで異なるため前年比 69.2%、一昨年比では 46.5%となり、前月と比べると回復傾向だが依然厳しい状況が続いている。

小売店については、日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3 団体の 10 月の販売統計速報によると畜産部門の売上高は 1,140 億円(前年同月比 99.3%、既存店ベース 98.3%)と前年を下回った。緊急事態宣言解除による内食需要の落ち着きに加え、国産・輸入品共に価格高騰が続いたことで販促を打ちにくく、伸び悩みをみせた。

感染者数減少による規制緩和から外食や観光の需要回復が期待されるが、消費者の防衛意識の高まりや接待の自粛により都心部の飲食店は厳しい環境となっている。このような業態別での温度差が今後顕著になると予想される。

○牛肉

緊急事態宣言や時短営業要請の解除により外食に回復の兆しがあるが、店舗によって温度差がみられ、10 月下旬になってようやくロースやヒレの荷動きが徐々に出てきた状況。小売も和牛・交雑ともに安価な小間材や煮込み用のスネの動きが中心で肩ロースやモモは鈍く、内食需要の弱まりが表れている。

○豚肉

10 月はオリンピックに伴う祝日の前倒しやイベント需要がない中で、荷動きは終始落ち着いたものになった。国産冷蔵品はスライス用のバラが好調ながらも、前月の動きが大きかった肩ロースや切落し用のウデ・モモが鈍化した。国産冷凍品はバラ・スソ物を中心として堅調な荷動きとなった。

○業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和 3 年 10 月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和 2 年 10 月	13,780	15,213	12,504	44,679	12,387	12,741	6,270	117,574
令和 3 年 10 月	12,385	12,961	8,570	32,025	15,597	9,908	6,760	98,206
増減	-1,395	-2,252	-3,934	-12,654	3,210	-2,833	490	-19,368
対比	90%	85%	69%	72%	126%	78%	108%	84%